

IYEO 自主活動サポート助成金制度 (チャレンジ・ファンド) による活動

「IYEO自主活動サポート助成金制度(チャレンジ・ファンド)」は、IYEOの人的活力をより社会に提供すること、また団体として活性化を図ることを目的として2011年に創設したもので、IYEO会員が自主的な国際交流活動を実施する際に、その活動資金の一部を助成しています。詳細については、こちらを御覧ください⇒URL: <http://www.iyeo.or.jp/ja/profile/challengefund.html>



本号ではチャレンジ・ファンドを活用した昨年の活動より三つの事業について紹介します。

第2回青少年ユニバーサルキャンプ

3歳から60代までの幅広い年齢層

2017年10月14日(土)～15日(日)に千葉県立手賀の丘少年自然の家にて2017年度IYEOチャレンジ・ファンド助成事業「第2回青少年ユニバーサルキャンプ」(主催:青少年ユニバーサルキャンプ実行委員会)を開催しました。参加者は総勢68名(参加者18歳未満22名、18歳以上30名、実行委員15名、地域ボランティア1名)でした。

「国籍や性別、経済格差、障がいの有無にかかわらず多様な文化や互いの個性を尊重し、交流できる機会をつくる」というキャンプの目的に沿い、満3歳以上なら誰でも参加対象として募集を行い、3歳から60代までの幅広い年齢層の方、外国にルーツをもつ方、車いすで生活している方、初めてキャンプに参加する方と、みんな違う、個性豊かな参加者が集いました。

「助け合い、主体的に動くこと」がテーマ

プログラムもキャンプの目的に沿い、力を合わせることで高得点が得られる班対抗のウォークラリー、野外炊事、自分たちで考えて活動するプレイパークと「助け合い、主体的に動くこと」をテーマに組み立てました。そのほか、キャンプファイヤー、花火、と交流を深め、参加者は大人も子供も対等に混ざり合って声をかけあい、工夫を凝らして、楽しみながら2日間を過ごしました。差別や偏見なく、それぞれの個性を尊重し、みんなで助け合うという意味が、野外活動という普段とは違う空間だからこそ、フラットな気持ちで体験を通して理解することができたのではないかと思います。

寒かったけれど・・・

二日間とも雨が降り、11月下旬の寒さと言われる中でのキャンプとなったことは、相手を気遣う気持ちを自然と思い起こさせ、私たちにより共生の意味を教えてくれる自然の恵みであったと感じ、思い出深いキャンプになりました。

